

子どもの権利条約とSDGs

日本社会での子どもの権利条約の認知度は、まだまだ低いと言われています。

SDGs を定めた文書『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ』の冒頭、パラグラフ 8 には、SDGs がめざす世界は、「子供たちに投資し、すべての子どもが暴力及び搾取から解放される世界」とされており、持続可能な社会の実現のためには、子どもたちが世界や地域の現状を主体的に学び、行動することが重要だと考えられます。

子どもの権利条約の普及啓発キャンペーン活動を通して、「もっと多くの方に子どもの権利条約を理解してもらいたい。」「日本

だけでなく他の国や地域の子どもの権利についての理解を促したい。」「子どもの権利条約に関心のある高校生など若い世代の仲間が集まる機会をつくりたい。」「このイベントをきっかけに、子どもの権利や自由・公正について訴えなくても、当たり前のよう、あらゆる世代の人々がそれを尊重する社会をつくりたい。」という思いへの賛同を募りました。

高校生などユース世代が主体となって取り組むイベント、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth では、SDGs を宣言するだけではなく、実践し、達成に向けて活動を続けます。

ワンフェスユース 2021 開催概要

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021
「わたしたちが描く持続可能な社会の未来図」

開催日 2021年12月19日(日) 9:40~16:00
開催場所 ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 公式ホームページ特設会場

当日参加者数

2021年は高校生を中心に延べ900人の参加者を迎え、
2014年からの累計は、延べ32,100人を超えます!



- 主催** ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会、特定非営利活動法人関西 NGO 協議会
- 協力** 公益財団法人大阪 YMCA、一般社団法人ソーシャルギルド、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth OV 会
- 後援** 外務省、文部科学省、独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西)、大阪府教育委員会、ESD 活動支援センター、近畿地方 ESD 活動支援センター、公益財団法人大阪府国際交流財団、認定 NPO 法人開発教育協会 (DEAR)、朝日新聞社、関西 SDGs プラットフォーム
- 協賛** 近畿労働金庫、真如苑、リタワークス株式会社、日本労働組合総連合会大阪府連合会 (連合大阪)、株式会社オルタナティブツアー、「ステハジ」プロジェクト株式会社 OSG コーポレーション



- 助成** 外務省 NGO 事業補助金事業、阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト助成事業、公益財団法人カメイ社会教育振興財団 (仙台市)、独立行政法人環境再生保全機構 (※ユース提言セクション)、一般財団法人日本国際協力システム

- 寄付** 近畿ろうきん・社会貢献預金(笑顔プラス)寄付金

お問い合わせ先

(特活) 関西 NGO 協議会 / ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 事務局
〒530-0013 大阪市北区茶屋町 2-30 4 階
TEL : 06-6377-5144 / FAX : 06-6377-5148 Email : youth_expo@kansaingo.net
[open hour] (火~金) 13:00 - 18:00 ※土・日・月・祝休み

ワンフェスユース2022の開催については、
ウェブサイトをご覧ください!

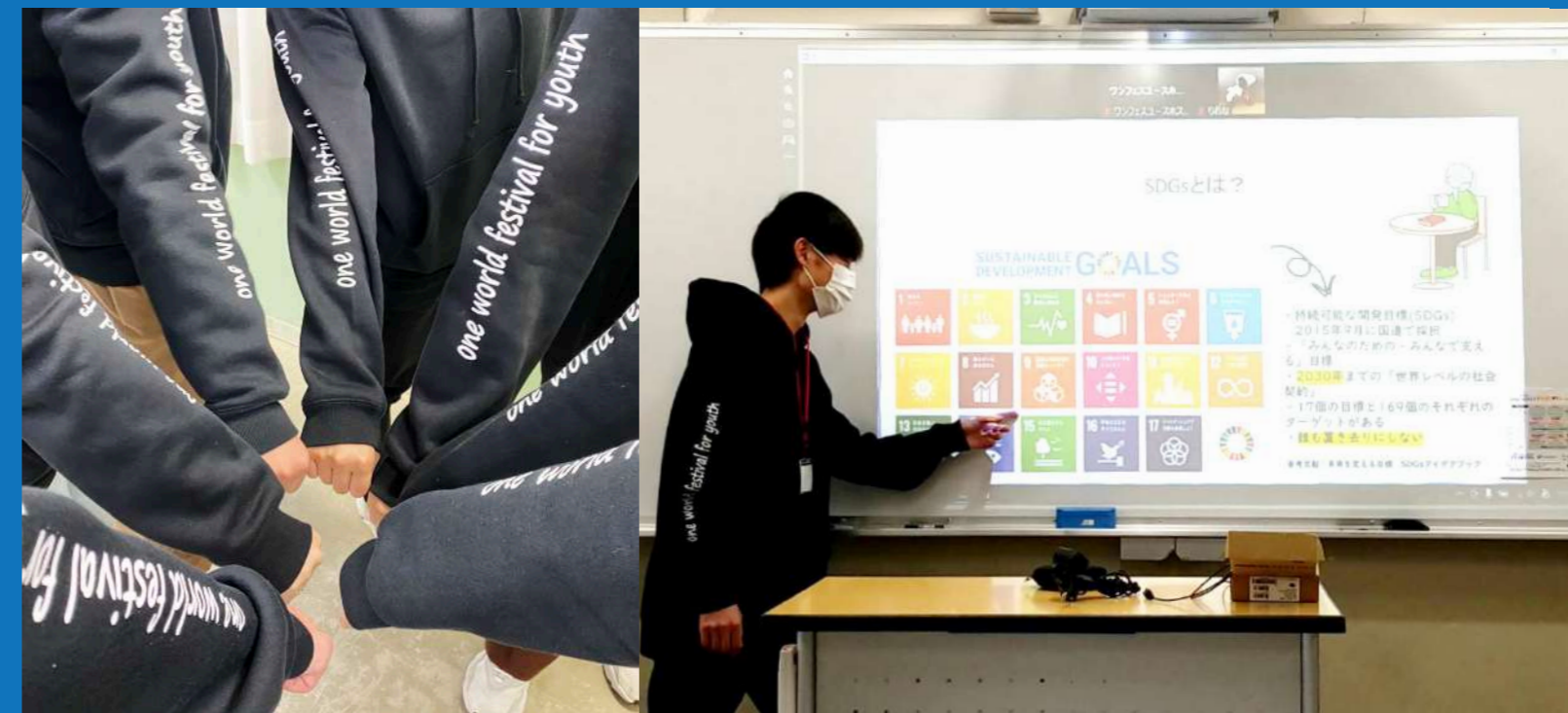


ワンフェスユース公式サイト
へ直接アクセスできます

2022の募集情報を
チェック!



ワンフェスユース2021 レポート



ワンフェスユースをつくる高校生たち

ワンフェスユースは、一人の高校生の発意とそれに賛同した高校生たちによって生まれたユースの取り組みです。2021年度は去年に続き、オンライン開催の可能性を模索しながらの活動となりました。

プログラム実施セッション（プロセク）

プログラム実施セッションでは、実際のイベントのプログラムの構成を行います。新型コロナウイルス感染症によってより一層身近になった「海外の課題」、コロナ禍を経た今だからこそ見つめ直せる「当たり前を変える力」、「技術革新の裏にある海洋汚染」を3つのテーマを軸に国際課題について考えました。

プログラム実施セッション委員：

浅田結音（高校1年） 久戸いつみ（高校1年）
南部里緒菜（高校3年） 橋本真菜（高校2年）
藤本恵梨奈（高校3年） 星野 菜月（高校2年）
森山 優星（高校3年）

高校生実行委員会プログラム実施セッション 森山優星

今年度のワンフェスユースは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続で全日オンラインで開催されました。高校生実行委員同士でも感染拡大を防ぐため、オンライン会議になったので実際に会えない環境下で企画準備や講師依頼をしていかなければならず、なかなか思い通りにいかない部分も沢山ありました。期待と不安を胸に当日を迎えましたが、蓋を開けてみればそれぞれがしっかりと与えられた役割を履行し、全員で連携のと

れたイベントにすることができたと思います。このイベントの成功には活動を支えてくださった皆様、クラウドファンディングなど様々な形で協力してくださった方々の力が本当に大きかったと思います。今回のイベントを通してたくさんの方のことを学びました。これからも今回学んだことを活かして、様々な舞台でチャレンジしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

イベント運営セッション（イベセク）

私たちイベント運営セッションでは、Web デザインの考案や広報、クラウドファンディングなどを主にワンフェスを盛り上げられるように活動をしました。ぜひ、私たちが作った Web 特設会場をご覧ください。

イベント運営セッション委員：

河地彩那（高校2年） 短田美結（高校1年）
千原涼雅（高校2年） 中谷優仁（高校1年）
萩田和（高校1年） 松本夕生子（高校2年）

高校生実行委員会イベント運営セッション 中谷優仁

昨年の12月に無事ワンフェスユース 2021 Online が終了しました！様々なトラブルが起こると想定していましたが、何事もなく開催することが出来ました。私たちイベント運営セッションは主にホームページの Web デザインの考案や Twitter・Instagram での広報、当日の zoom の運営を行いま

した。このイベントが行えたのは沢山の参加者・寄付をして頂いた皆さんのおかげです。ありがとうございました！この活動を通して学んだことはとても多く、濃い内容でもありました。この体験を日々の学校生活にも活かしていきます！

ユース提言セッション（アドセク）

私たちユース提言セッションは、日本や世界が抱えている様々な課題の解決のため、同世代である高校生に向けた提言活動を行うチームです。ワンフェスユースの場で、ユースシンポジウムの開催に向けて、2030年、2050年を見据え、これからの時代を切り拓くために必要な指針を提案するための提言書を策定し、その内容を発表しました。「海洋プラスチックによる環境問題」と「貧困による開発途上国の教育課題」の2つのトピックを扱い、関係各所へ提言した内容を報告しました。

ユース提言セッション委員：

岸本夏奈（高校3年） 中島優梨子（高校3年）
保田竜（高校1年） 宮迫 怜菜（高校1年）
湯浅妃奈乃（高校2年）

高校生実行委員会ユース提言セッション 宮迫怜菜

今年度も昨年度と同様にオンラインにてワンフェスユースが開催されました。ユース提言セッションでの活動では、提言をする相手にどのようにしたら興味をもっていただくことができ、私たちの思いがうまく伝わるのかを創意工夫してきました。また、オンライン開催という状況を逆手に取り、対面ではできない遠くにお住まいの方にワンフェスユース当日の

シンポジウムに登壇していただくことができました。ユース提言セッションでの経験から私は、今だからできる事を考えアクションを起こす事の大切さを学びました。当日まで、様々な形で皆様からのご支援があったからこそワンフェスユースが無事終了いたしました。本当にありがとうございました。

「私たちが描く持続可能な社会の未来図」とSDGs



なぜ、ユースなの？

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」（持続可能な開発目標 SDGs）が 2015 年 9 月、国連において全会一致で採択されました。2030 年、私たちの住む地域、社会、そして世界はどのようになってほしいと思いますか？ 貧困や差別がない社会、戦争のない世界、環境にやさしい社会、防災減災に取り組むまちづくり、ジェンダーの平等、質の高い教育、そして、誰もが自分らしく幸せに暮らせる社会。私たち若い世代は、地球に暮らす一員として、その未来図を描き、その実現に向けて行動します。

ワンフェスユースの思い

これからの社会を描いていくユースが、国際協力やSDGsについて考え、話し合い、その思いを発信していきます。高校生などユース世代が主体となって作り上げるワンフェスユースは、ユース同士が互いを高め合い、尊重し合うことができる場です。そこに、国際協力 NGO やワンフェスユース運営委員、ワンフェスユース O V 会、協力団体や企業の応援、そして市民の方々からの共感や賛同の気持ちが合わさり、大きな輪が広がります。

ワンフェスユース 2021 活動紹介



● 特設会場ホームページのデザイン

高校生実行委員会のイベント運営セッションの高校生が、ワンフェスユースが行われるオンライン特設会場のホームページをデザインから考え、作成しました。ワンフェスユースを紹介するグラフィックレコーディングやバーチャル背景も高校生が作成しました。

● 高校生のための

国際協力アクションプラン応援プログラム

国際協力や SDGs 達成を目指しアクションを起こす高校生チームを応援します。11月にコメンテーターにフィードバックを受ける「ブラッシュアップのための発表会」を経て、12月には実際に活動を行うチームを決める「コンペティション大会」を経て、ワンフェスユース 2021 当日にはファイナリスト全チームが発表を行いました。



● 国際協力や 海洋汚染についてのプログラム

高校生実行委員会のプログラム実施セッションの高校生がアフガニスタンの教育や世界の海洋汚染に関するプログラムを企画、運営、実施しました。講師の方をお招きし、参加者と共に学びました。

● ユースからの提言

高校生実行委員会のユース提言セッションの高校生が、貧困と教育、環境という観点から世界を捉え、講師の方をお招きし、参加者と共に深い議論を行いました。閉会式では、同世代がユースアクションを起こす意義を提言しました！ワンフェスユース活動として、今後も提言を行っていきます。



● ユースアクション報告会

高校生たちが学校で実施した国際協力・フィールドスタディ・プロジェクトラーニングでの学習内容とその成果について共有しました。



● グラフィックレコーディング

各プログラムでの気づきや印象に残った言葉をまとめ、イラストや文字で記録する高校生グラフィックレコーダーたちがフェスティバルの学びを共有し、振り返りをしました！

